

須坂市教育委員会 8 月定例会 会議録

1 日 時 2024年 8 月27日（火）午後 2 時00分 ～午後 4 時00分

2 場 所 人権交流センター 2 階 会議室

3 出席した委員

教育長	勝山 幸則
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	土屋 保男
教育委員	山下美知子
教育委員	村石 忍

4 説明のため出席した職員

教育次長	山岸 和美
学校教育課長	中村 健司
子ども課長	永井 隆広
人権同和教育課長	高橋 克彦
文化スポーツ課長	寺沢 隆宏
生涯学習推進課長	寺澤 勝志
主任指導主事	後藤 昭彦
指導主事	宮崎 健
指導主事	北村 雅
指導主事	松木 智子
指導主事	西原 秀明
高校連携コーディネーター	井上 陽介

5 事務局出席職員

庶務係長	山本 雅代
------	-------

6 本日の会議に付した事項

1 学校等の状況報告について

2 議題

なし

3 協議

(1) 教育の窓 発表者 指導主事

4 一般行政報告

- (1) 教育長出席行事の報告について
- (2) 行事共催等承認の報告について
- (3) 9月補正予算(案)の概要について
- (4) 2023年度事業実績並びに主要成果について
- (5) その他

5 その他

- (1) 教育委員会行事予定について
- (2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- (3) 2024年度第9回子どもスポーツフェスティバル(ドッチビー交流会)について
- (4) その他

教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、主任指導主事が説明した。

- ・児童生徒数について、小学校が2名減、中学校が1名減。
- ・学校事故報告については少なくなってきた。
- ・不登校欠席状況について、7月末現在小学校ではほぼ昨年並みとなった。
中学校は昨年度の同月と比べて減少しているが、今後どうなるか注視していく。
- ・不登校の新規・継続の経年変化について、新規で不登校となった者は1学期中ではいなかった。

- ・行事について峰の原自然体験学習が終了した。天候にも恵まれたことがよかった。
- ・運動会について、須坂小が春の開催となったため、全小学校が１学期中に実施することとなった。
- ・今回のいじめに関する調査について、昨年の１１月の調査と比較して大きな変化はない。
- ・回答率について小学校は９７％、中学校は９１％。
- ・学校が楽しいですかという質問に足しては、小学校３年生と中学校２年生で９０％を割ったが、他は９０％を超えた。
- ・心配していた小学校１年生、中学校１年生についてはいわゆる小１プロブレム、中１ギャップが心配されたが、どちらも高い数値であり、いい状況で新しいスタートができた。
- ・いじめられたことがあるかという質問に対しては、小学生が２１．７％、中学生が３．５％「ある」と答えている。
- ・中身について、小学生はからかいが多く、次に軽い暴力があった。
- ・中学生については男女差が大きく、ひやかしやからかい、悪口について女子の回答が多く、無視・仲間外れは男子の回答が多かった。
- ・いじめをしたことがあるかについては、小学生が１２．２％、中学生が２％「ある」と回答した。
- ・中学生について、男子はいじめたという意識が高く、いじめられたという意識が低いのに比べ、女子はいじめたという意識が低く、いじめられたという意識が高い。加害者意識・被害者意識に男女差がある。
- ・いじめを見たり聞いたりしたとき、やめさせようと実際に行動した子が小学生では約半数、やめさせようと思ったができなかったがもう半数だった。
- ・いじめられたとき誰かに相談したかという質問に対し、だれにも話さなかったという回答が小学生で２０％以上あった。
- ・先生の対応について、よく聞いてくれるという回答が小学校では約８割、中学校では５割だった。

委員：

- ・いじめに関しては経年変化はあまりないように感じる。不登校についてはいじめが原因である子はいるのか。

主任指導主事

- ・原因について子どもたち同士のトラブルはある。そこから解消するものと、複合的な背景を持つ子もいるので原因を絞ることは難しい。いじめであればピンポイントに指導できる。新規は原因が探りやすいが、継続の子については経過も含めて原因が何だったのかを特定するのは困難。

委員：

- ・夏休み明けのトラブルは多いのか。

主任指導主事：

- ・夏休み明けは一般的に大きなトラブルが多いが、現在時点でそのようなトラブルの報告はない。

教育長

- ・単一の理由で不登校になったケースの場合は問題が解決すれば登校になるのか？

主任指導主事：

- ・ある。ただ逆にそれがきっかけでクラスに歩み寄れないということもある。

委員：

- ・もやもやしていた気持ちにいじめがきっかけとなって不登校になってしまいうケースがある。単一の理由であれば解決のしようもあるが、家庭関係などの問題も密接にかかわっていると感じる。

委員：

- ・女子同士での無視などがエスカレートしていくケースもある。本人は自覚していないが、先生がよく話をしてくれたため、自分がいじめをしたという自覚を持てた子がいた。アンケートについて、先生に特定されるのが嫌でいじめをしたという欄にいいえと回答してしまう子どももいると聞いている。アンケートにどこまで信ぴょう性があるのかも考えていく必要がある。

主任指導主事：

- ・いじめの認知数については文科省説明では小学生では毎日数件のいじめが発生しているとある。そのなかで重大なものに発展しないよう認知したら学校は組織的対応をしなければならない。それを学校がやると膨大な量になる。認知すること自体は大切だが、今はすぐに大人が介入して解決しなければならない状況。

委員：

- ・児童クラブでのいじめの話も聞く。学校へ相談して発覚したということもあるので、相談する窓口をたくさん作ることも重要だと感じる。

教育長：

- ・誰にも相談しやすい開かれた環境をもっと大切にしていけることが重要。人権教育にも関わってくるが現在はどういう状況か。

人権同和教育課長：

- ・学校に関しては年2回人権について考える期間を設けている。春はそれぞれの学校で課題を設定し、秋は部落差別問題について取り上げてもらっている。人権教育副読本も提供し、取り組んでいる。

教育長：

- ・生徒指導の範疇で対応すると膨大な量となってしまう。聞き取りによってトラブルが悪化するケースもあるため難しいが、継続して取り組みをしていくことが重要。

委員：

- ・不登校の子について、学校ではどういう対応を取っているのか。

主任指導主事：

- ・学校内では教室へ入れない子については校内中間教室を設置している。他には保健室や職員室、事務室で学習をしている子もいる。須坂市では学校へ戻す対応の子以外にいわゆる社会的参加を目指す子たちもいる。また、昼夜逆転の子に対しては生活習慣を身に着ける指導をしている。子どもたちに対してどういう対応をするかは教育委員会も入りスクリーニングを行いながら最適な対応・居場所を考えている。学校外の居場所に行っている子も数名いる。家庭以外の場所で居場所を見つけながら子どもたちを支援している。

委員：

- ・まったく家から出られない子もいるのか。

主任指導主事：

- ・いる。中には買い物にだけ行ける子どももいる。家庭以外に社会とのつながりが無い子もいるが、スクールソーシャルワーカーの力も借りながら子どものエネルギーが蓄えられるのを待つことも重要。

教育長：

- ・子どもの居場所について、教育委員会だけでなく須坂市全体で考えてほしい。従来のように学校は行かなければならないという考えから脱却していく。もちろん行くことは非常に重要だが、行かなければならないから行くのではなく、楽しいから行く状態になってほしい。自分らしく生きられる、自分が安定する学校以外の居場所を見つけていくことは子どもたちにとって非常に大切なこと。まだ課題はあるが、須坂市はそういった状況が作られ始めている。

教育長が井上連携コーディネーターに通学合宿の説明を求め、井上連携コーディネーターが発表した。

委員：

- ・すごくいい取組みだった。今後の展開として他の小学校とも行ってもらえるか。

連携コーディネーター：

- ・今回井上地域で行ったのは地域の立地や力も大きい。地域と公民館、小学校との連携が強かったからできた事業。今後ほかの地域でも行っていただければいいが、まずは地域と小学校との連携をしっかりと作っていくことが重要。

教育長：

- ・他の自治体で行ったことがあるがそれは自治体に小学校が1校のみだったからできた。須坂市は行政が協力できることもあるが、地域と行政を繋げてくれる存在がいたからこそできた事業。

2 議題

なし。

3 協議

(1) 教育の窓 発表者 宮崎指導主事

- ・指導主事が発表した。

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について

- ・教育長が説明した。

(2) 行事共催等承認の報告について

- ・教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。
後援14件。新規はなし。

(3) 9月補正予算(案)の概要について

- ・教育長が説明を求め、各課長が説明した。

(4) 2023年度事業実績並びに主要成果について

- ・教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(5) その他

- ・文化スポーツ課長が長野県図書館大会について説明した。

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

- ・教育長が説明を求め、各課長が説明した。

(2) 2024年度第9回子どもスポーツフェスティバル(ドッチビー交流会)について

- ・教育長が説明を求め、子ども課長が説明した。

(3) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

- ・教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

(4) その他

- ・教育課程研究協議会について、指導主事が説明した。

教育長が閉会を宣した。